

【著者紹介】

黒沢 幸子 (くろさわ さちこ)

目白大学人間学部心理カウンセリング学科

同大学院心理学研究科臨床心理学専攻特任教授 KIDSカウンセリング・システム (チーフ)

上智大学卒業後、同大学院を修了 (修士)。臨床心理士。スクールカウンセラーと

して豊富なキャリアをもち、公立私立学校のスクールカウンセリングに精通する。

子どもと大人、学校の力を活かし元気にするリソースフルな支援 (研修、相談) を、

解決志向ブリーフセラピーを軸に開発・実践研究し、全国の先生方と協働し学び

合いながら展開している。日本ブリーフサイコセラピー学会、日本コミュニティ心理学会、日本ピア

・サポート学会では理事を務める。日本ブリーフサイコセラピー学会賞を受賞。

【おもな著書】

『〈森・黒沢のワークショップで学ぶ〉解決志向ブリーフセラピー』(共著) ほんの森出版、2002年

『指導援助に役立つスクールカウンセリング・ワークブック』金子書房、2002年

『タイムマシン心理療法—未来・解決志向のブリーフセラピー』日本評論社、2008年

『学校で活かす いじめへの解決志向プログラム』(スー・ヤング著、監訳) 金子書房、2012年

『ワークシートでブリーフセラピー—学校ですぐ使える解決志向&外在化の発想と技法』(編著) ほんの

森出版、2012年

『明解! スクールカウンセリング—読んですっきり理解編』(共著) 金子書房、2013年

『やさしい思春期臨床—子と親を活かすレッスン』金剛出版、2015年



渡辺 友香 (わたなべ ゆか)

KIDSカウンセリング・システム (カウンセラー、リサーチャー)

スクールカウンセラー

お茶の水女子大学を卒業後、東京大学大学院を修了 (保健学博士)。臨床心理士。

公立・私立学校のスクールカウンセラーとして15年以上勤務し、学校や子どもた

ちのニーズに合わせた心理教育に力を入れている。学校現場だけではなく、解決志

向ブリーフセラピーを活かし、母子保健分野での育児・発達相談や保護者向け講

演会、保育園での発達支援に関するコンサルテーションなども行う。

【おもな著書・論文】

「Mothers' Self-reported Abusive Behavior and Psychosocial Risk Factors for Child Abuse : A City Survey of Mothers with Primary School Children」(博士論文、2002年、東京大学)

「広汎性発達障害 (PDD) 児および精神遅滞児における人物画描画能力の比較研究」『精神医学』44 (4)、2002年

「母親による子どもへの虐待の実態と精神保健・医療の役割—一般人口調査の結果から見たスクリーニングとサポートの可能性」『病院・地域精神医学』44 (4)、2001年 (共著)

「すごろくトークブリーフセラピーバージョン」『月刊学校教育相談』30 (8)、2016年



解決志向のクラスづくり 完全マニュアル

チーム学校、みんなで目指す最高のクラス!

2017年7月7日 第1版 発行

著者 黒沢幸子・渡辺友香

発行者 小林敏史

発行所 ほんの森出版株式会社

〒145-0062 東京都大田区北千束 3-16-11

Tel 03-5754-3346 Fax 03-5918-8146

<http://www.honnomori.co.jp>

印刷・製本所 研友社印刷株式会社